

未来はもっと良くなるでしょうか

2020年、皆様の健康と幸せをお祈りします！10年間の思い出を詰め込んだ動画と、一首の詩を皆さんと共有します。出会い、会話、食事のひととき、すべてに感謝します。人生は結局孤独なものですが、だからこそ、家族、友人、クラスメートの皆さんへの支えに感謝します。動画の最後には、彼女も登場しますよ、ふふ。以下は最近の私の考えです。

世界はこぞってテクノロジーが未来を掴もうとしていると言っていますが、私はむしろ原始と田園に回帰したいと思っています。

人類は皆、必死に前へ進もうとしていますが、世界が10年前のままでも、それはそれで悪くないかもしれません。

人々は果てしない富を求め、地球の天然資源をすべてお金に変え、お金とゴミだけが残った地球を子孫に残しています。

資本主義は、一部の人々に必死に働かせる一方で、他の一部の人々を失業させます。

何世紀もの間に、これほど多くのハイテクと賢い人々が現れたにもかかわらず、私たちの生活はますます難しくなっています。

私たちが真実と美しさだと思っていたものは、結局のところ、次々と繰り広げられる嘘と欺瞞に過ぎなかったと気づく。

他人事は高みの見物、しかし最後には逃げ場がなくなり、私たちは次々と泡の中にいることに気づきます。

私たちはさまざまな友人と付き合ってきましたが、最後には彼らもまた私たちと同じであることに気づきました。

私たちはかつて、自分たちが非凡であると自負していましたが、最後には皆が凡人であることに気づきました。

私たちはかつて、他人からの印象にこだわりすぎていましたが、結局のところ、誰も本当には気にしていないことに気づきました。

私たちは本当に誰も気にかけていないと思い込んでいましたが、友達の心遣いには心温まる思いがしました。

私たちが日常で見過ごしている些細なものの中に、自然世界の神祕が潜んでいます。

私たちが何かを得ようとすればするほど、結果は往々にして逆の方向に向かってしまうのです。

私たちが純粹に、他の何のためでもなく行動すればするほど、かえって元々欲しかったものを手に入れることができる。

私たちが恋愛や結婚を急げば急ぐほど、かえって縁が遠のいてしまうようです。

私たちは、相手を変えればうまくいくと思っていたが、それでも相変わらず愛し合い、傷つけ合っている。

私たちが手段を選ばずにお金を急いで稼ごうとすればするほど、現実に打ちのめされるものです。

私たちは必死にお金を稼ぐ最良の方法を探し求めますが、結局のところ、最も簡単にお金の稼ぎ方は節約することだと気づくのです。

成功を望まない人ほど、人々の目に映る成功を手にする。

物質的に質素で貧しい生活を送る人ほど、善良で無私である。

私たちは人生の意味を必死に探し求めますが、結局は何の意味もないことに気づきます。

他人は私が貧困に苦しんでいると思っているが、私はただ良心に反して最大の利益を得ることを望まなくなっただけだ。

私たちは豚や牛、羊、馬を愚かで哀れだと思っていますが、私たちの生活はしばしば彼らのそれにも及ばないことがあります。

私たちは生活が自分を縛る枷（かせ）だと思いがちですが、実はそれは自分の精神が枷に満ちているからだと気づいていません。

私たちは刑務所の中の人気が堕落していく惨めだと思っていますが、実は彼らは外の人よりももっと明白に生きているのです。

私たちが夢見て求めたものは、結局のところ、それほどでもないと気づく。

私たちが崇拝する権威や天才は、結局のところ、私たちとそれほど変わらないことに気づく。

私たちは山を越え、川を渡り、ついに真理が目の前にあることに気づきました。ただ、それを見る勇気があるかどうかだけが問題なのです。

私たちは全世界を理解したと思っていたが、実は水滴のように小さく、ほんの表面的なことしか知らないことに気づいた。

人生のほとんどの場面で、誰かに何かを強制されることはありません。しかし、私たちは自ら多くのことを引き受け、トラブルを招いてしまうのです。

他人が私たちを積極的で熱心で努力家だと言うのは、実は私たちの心が恐怖と不安で満ちているからに過ぎない。

私たちは一つひとつの成果で自分を証明しようとするが、心の奥底にある劣等感を埋めることはできない。

私たちは最も賢くなりたいと願っていますが、最終的には、私たちに欠けているのは勇気と誠実さ、そして純粋さだけだと気づくのです。

私たちは騒がしさと狂騒を渴望しますが、結局それはただの集団の孤独であることに気づきます。

私たちが天才だと思っていた人々は、最後には、彼らも同じように狂喜や悲しみに満ちた人生を送っていることに気づくのです。

私たちは成長するにつれて、子供の頃に戻りたいと思うようになります。それは、心配事がなく、シンプルで楽しかったあの頃に戻りたいからです。

人々は皇帝がとても素晴らしい、快適な生活を送っていると思っていますが、彼らは重い儀礼や規則、管理しにくい大臣たち、出ることの難しい紫禁城、そしてほぼ一生を城壁の中に閉じ込められていることを知りません。

私たちが世界を悲観的に見れば見るほど、最後には本当の喜びを見つけるのです。

人と違うほど、流れに逆らうほど、この世界をより包容し、愛することができる。

私たちは社会や生活がこういうものだと思い込んでいますが、別の国に行ってみると、実はみんな人々や生き方もあるのだと気づかされます。

私たちが国家の大事、社会の大事、そしてネット有名人だと思っていることは、他の国の人々には全く知られていないことがあります。

私たちが「やらなければならない」「持たなければならない」と思っていたことは、結局のところ執着に過ぎなかつたと気づくことがある。

私たちは、生き方を変えれば良くなると考えていました。馬に餌をやり、薪を割り、世界中を旅する。しかし最後には、孤独と空虚が依然として影のように付きまとっていることに気づくのです。

すべては歴史の流れの中に消え去り、これからは人々を思いやり、環境を気遣い、質素儉約に努め、精神を充実させていく。

この記事では、Jekyll ブログ投稿用の Markdown ファイルを翻訳するプロの翻訳者として、以下のテキストを日本語に翻訳します。英語の名前は翻訳せず、コードブロックについては注意深く扱い、もし確信が持てない場合は変更しないようにします。

拡張読書：

- 王娘のブログ
- Jon Jandai - 生活はこんなにシンプルなのに、なぜ私たちはこんなに難しくしているのか